

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

図書館からのお知らせメールについて

3月のシステムリリースに伴い、図書館からのお知らせメールのドメインが変更されています。迷惑メール対策などの設定をされている方は、以下のドメイン指定受信の設定をお願いします。

library.chiyoda.tokyo.jp

予約関連メールなどが届かないことが増えています。図書館に登録しているメールアドレスを変更された方は、再度ご確認をお願いします。

Exhibit Information
10月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「明治 あたらしい時代を迎えた人々」(～2019/1/18) **NEW!**
今年2018年は、明治の始まりから150年目の年。明治という新しい時代を迎えたとき、そこに生きた人々にはどのような変化の波が押し寄せたのでしょうか。衣食住、建築、文学、芸術などに関する資料を展示しながら、現代にもつながる文化の転換期を眺めます。

2F パープルゾーン 1階特別展「江戸から東京へ 江戸城無血開城から東京の新たな幕開け」
関連展示(10/1～12/2) **NEW!**
千代田区には幕末から明治維新にかけての歴史の舞台が多くあります。10月5日から行われる特別展にあわせて、幕末動乱から鹿鳴館時代といわれた明治10年代頃までの江戸東京をとりあげるとともに、区内に残る幕末の痕跡や文明開化に関する資料などもご紹介します。

3F ブルーゾーン 「丸と三角」(～12/14) **NEW!**
日比谷図書文化館のシンボルマークは「△」の左端に小さい「○」をつけたデザインを使用しています。三角は当館の建築物を、丸は1階にあるショップ&カフェの部分を表しています。それにちなみ、丸と三角に関する本を自然、造形物、象徴、世界三大〇〇などいくつかのテーマに分けてご紹介します。

展示 PICK UP

◆2Fパープルゾーン 【江戸・東京】の本を集めたゾーン

「明治 あたらしい時代を迎えた人々」お薦めの本5選

9/18から開催中のパープルゾーン展示の中から、明治期の文化に触れられる本5冊をご紹介します。

- 『鉄道考古学事始・新橋停車場』
●著者：斉藤 進 ●出版社：新泉社 ●出版年：2014年
- 『明治版画史』
●著者：岩切 信一郎 ●出版社：吉川弘文館 ●出版年：2009年
- 『明治の洋館24選』
●編者：阿部 一恵 ●出版社：淡交社 ●出版年：2009年
- 『洋服・散髪・脱刀』
●著者：刑部 芳則 ●出版社：講談社 ●出版年：2010年
- 『とんかつの誕生』
●著者：岡田 哲 ●出版社：講談社 ●出版年：2000年

エス・ディー・ジーズ 2 食卓をゼロに SDGs × 食欲の秋

〇〇の秋といえば何を思い浮かべますか？読書、スポーツ、そして食欲の秋。ツヤツヤの新米やみずみずしい果物など、楽しみにされている方も多いのではないでしょうか。一方で世界に目を向ければ、紛争や自然災害により、いまだ8億人あまりの人々が十分な食料を手に入れない現実があります。実りの秋、私たちにできることを考えてみませんか。

SDGsとは…「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals,SDGs)」は2015年9月、国連サミットで採択された世界を変えるための17の目標です。その中の1つに「2 飢餓をゼロに」があります。

まだ食べられる食品を大量に廃棄する「食品ロス」大国・日本。消費者である私たちの意識が変わる一冊。

『賞味期限のウソ 食品ロスはなぜ生まれるのか』
井出留美 著
幻冬舎 2016年

料理を学ぶために世界へ旅立ったシェフが目にした様々な価値観や問題とは。各国の料理レシピも掲載。

『世界のごちそう 旅×レシピ』
本山尚義 著
イカロス出版 2015年

料理を学ぶために世界へ旅立ったシェフが目にした様々な価値観や問題とは。各国の料理レシピも掲載。

『世界のごちそう 旅×レシピ』
本山尚義 著
イカロス出版 2015年

【日比谷カレッジ報告】
9月7日に開催された「ごちそうから見える世界～30カ国を旅したシェフからの報告～」では「食から世界を平和にしたい」をテーマに活動する本山尚義氏にお話を伺いました。

江戸から東京へ

江戸城を擁する千代田区には、桜田門外の変、江戸城から皇居への移り変わり、不平等条約改正にむけての欧化政策を推進した鹿鳴館をはじめ、幕末から明治維新にかけての歴史の舞台が数多くあります。今回の展示では、黒船来航以来の幕末動乱から江戸城無血開城、鹿鳴館時代といわれた明治10年代までの時代をとりあげ、社会の変化や江戸から東京へと移り変わる街並みなどを紹介します。特に、江戸城無血開城に皇女和宮や天璋院篤姫が果たした役割など、今まであまり語られなかった明治維新も紹介します。



「東京桜田門外の変」(東京大学史料編纂所蔵) 和宮婚礼道具「櫛台」(徳川記念財団蔵)

「ゆるる江戸幕府」

諸外国の遠征記録による江戸風景や庶民の社会不安を示す万版を展示します。「江戸城火災之図」は初公開となります。

「江戸城から皇居へ」

皇女和宮を取上げ、豪華絢爛な婚礼道具や将軍家茂と和宮の書簡を示し、平和の世を願う夫婦のやりとりを紹介します。

「明治政府による東京再編」

天皇東幸による大規模な行列を描いた錦絵や明治初期の古写真をもとに江戸から東京の街並みの変容を取り上げます。

講演会

- 江戸城無血開城** 一篤姫と和宮が果たした役割
◆日時:10月30日(火)19:00～20:30(開場 18:30) ◆講師:田中 潤(徳川記念財団特別研究員)
- 幕末維新の目撃者** 一外国人から見た日本の近代化
◆日時:11月13日(火)19:00～20:30(開場 18:30) ◆講師:吉良 芳恵(日本女子大学名誉教授)
- 写真の中の江戸**
◆日時:11月27日(火)19:00～20:30(開場 18:30) ◆講師:金行 信輔(都市史研究者)

【上記いずれも】会場:日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) 定員:各回180名(事前申込順、定員になり次第締切) 参加費:各回 500円
【申込み方法】ホームページの申込みフォーム、電話(03-3502-3340)、来館(1階受付)のいずれかにて、①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

天気をはかる

～気象庁143年をものがたりと技術～

日々の天気予報のほかに、台風や集中豪雨などの気象の変化を観測して防災情報を提供している気象庁。かつての百葉箱や凧を使った観測から、現在のアメダスやGPS、電波を利用した観測へと気象観測の技術は日進月歩発展してきました。今回は、その143年の観測の歴史を解説パネルで紹介するほか、気象観測に関する本などを約180点展示・貸し出ししています。また、特別展示として、気象庁が所蔵する、50年ほど前に実際に使用していた観測機器も展示しています。ぜひご覧ください。

開催中～**10月27日(土)**まで
※休館日:9月23日(日・祝)～9月26日(水)
千代田図書館 **9階** 展示ウォール

気象庁マスコット「はれるん」(気象庁提供)

展示風景

calendar 開館時間:平日10時～22時 土曜10時～19時 日祝10時～17時 休館日

2018年10月							2018年11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	

■お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343
URL:https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

information
部分(図書フロア)休館のお知らせ
2018年10月13日(土)、14日(日)
図書の特別整理を実施するため、2・3階の図書フロア部分を臨時休館します。そのため、図書の貸出・閲覧席の利用などができなくなります。本の返却は1階エントランスおよび国会通り側ブックポストをご利用ください。(一部資料を除く)図書フロア以外の施設は通常どおりご利用いただけます。
※10月15日(月)は全館、休館日です。(文化財施設事務室は除く)
access
〔都営地下鉄〕●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
〔東京メトロ〕●丸ノ内線 ●日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分 ●JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

10・11月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。**千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

10/5 (金) 枠と額縁からみる絵画 ～源氏物語絵巻から北斎、国芳まで～

講師：小笠原 尚司(額装家)

絵画を枠や額縁と一体となった美術品、かつ装飾品としてみると、絵画鑑賞の奥行きは宗教的な目的や美的な楽しみ、建築や装飾との関係にまで広がります。今回は日本の絵を中心に、奈良時代の扁額から源氏物語絵巻、絵馬や浮世絵まで、日本と西洋の影響関係も含めて代表的な名画を新たな視点から考えてみます。

- 日時：10月5日(金)19:00～20:45(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：1000円



10/10 (水) シェイクスピアの倫理学 ～ハル王子とフォルスタッフを中心に

講師：河合 祥一郎(東京大学大学院総合文化研究科教授)

「善」を目指して行動しても、批判を受けることがある。「正しさ」のために頑張っても認められないこともある。一所懸命やっているのに、なぜうまくいかないのか。どうしたらいいのか、シェイクスピアに答えを求めよう。

- 日時：10月10日(水)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：1000円



10/16 (火) 展覧会への入口講座 Vol.25 千代田区内ミュージアム連携企画 東京ステーションギャラリー×日比谷図書文化館

横山華山の画業について ―その生涯と作品―

講師：八反 裕太郎(頤園美術館学芸員)

横山華山は江戸後期に京都で活躍した絵師です。幅広い流派の画法を身に付け、画題によって画風を変化させて描き分ける自由な筆遣いで人気を博しました。東京ステーションギャラリーで開催する「横山華山」展では、華山の作品を海外所蔵分も含めて約100点展示します。本講演では、横山華山の画業と生涯について、展示作品を中心に分かりやすく解説します。



横山華山「祇園祭礼図巻」上巻部分(個人蔵)

- 日時：10月16日(火)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)

10/19 (金)他 アメリカ政治を読み解く(全2回)

講師：西山 隆行(成蹊大学法学部教授)

トランプ政権成立後、アメリカ政治への関心が高まっています。11月に行われる中間選挙を前に、時事問題の論評も交えながら、アメリカの政治制度と選挙の仕組み、人種・エスニシティ・宗教・社会福祉・銃規制などの社会経済的争点について解説して、今後のアメリカ政治のゆくえについて考えます。

- 日時：10月19日(金)19:00～20:30(18:30開場) 第1回「制度と選挙」
- 10月26日(金)19:00～20:30(18:30開場) 第2回「社会と争点」
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：各回200名 ■参加費：各回1000円



10/26 (金) はじめての仏様 そのお姿と形の意味

講師：田中 ひろみ(仏像イラストレーター)

仏像には種類があり、姿が異なります。また、ポーズや座っている台や持ち物、手の形にそれぞれ意味があり、それらをイラストで楽しくわかりやすく説明します。今まで同じに見えていた仏像の違いを知ってから拝観すると、より仏像が身近に感じられ、お寺に行くのが楽しくなります。そんな仏像の見方の講座です。

- 日時：10月26日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名
- 参加費：1000円(千代田区民500円)



10/31 (水) 星と旅するワールドツアー ～世界の星の歴史と文化～ 南半球編

講師：皆川 敏春(星のソムリエ®みたか)

私たち日本人にとって憧れの一つである「南十字星」。日本からはほとんど見ることができないこともあってどんな物語があるのか、その輝きとともに未知への憧れが募ります。総じて南半球の星座たちは、北半球から見える星空とは違う歴史を辿って誕生しました。今回は、そんな南半球の星々の歴史を、探検の時代に戻って航海の旅に出航しましょう。

- 日時：10月31日(水)19:00～21:00(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円



撮影：皆川 敏春氏

11/2 (金) 千代田区民講座 今、ふくしまは…3.11に学んだこと

講師：川崎 葉子(株式会社夢企画コーポレーション代表取締役、福島県倫理法人会普及拡大委員長)

3月11日の東日本大震災時、事故を起こした原発から3キロ圏内の福島県双葉町に住んでいた講師は、家族とともに福井へ避難。そこで原発事故被害者の会「F・F・F(ふふふ)の会」を立ち上げました。全国の自然災害被災者のため、ボランティア活動続ける講師が、放射能事故を風化させないため、自らの過酷な被災体験と、被災地の「いま」を話します。(主催：NPO法人神田雑学大学、共催：日比谷図書館文化館)

- 日時：11月2日(金)19:00～20:30(18:30開場)
 - 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：無料
- ※9月25日(火)千代田区民受付開始。区民以外の方は、10月2日(火)から受付開始。



11/5 (月) ソーシャルメディア・マーケティングのこれまでとこれから

講師：水越 康介(首都大学東京経済経営学部准教授)

世界中の人々をはじめと、多くの企業がソーシャルメディアをマーケティングに活用するようになっていきました。その大きな力は、良い方向にも悪い方向にも働きます。本講演では、ソーシャルメディア・マーケティングの発達と基本的な枠組みを紹介しながら、企業と消費者の新しい関係性を考えます。

- 日時：11月5日(月)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円



11/8 (木) 江戸歴史講座 第56回 怖いだけではすまない 幽霊画の世界

講師：安村 敏信(北斎館館長)

幽霊画といえば怖い絵と思うのが当然であろう。そもそも幽霊自体、この世に怨念があるため成仏できず、生前の姿で恨みをはらすためにこの世に出てくるのだから、その姿は怖い。ところが、幽霊画として描かれると怖いだけではすまなくなる。美しい姿やコミカルな姿など意外性のある多様な表現を見よう。

- 日時：11月8日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名
- 参加費：1000円(千代田区民500円)



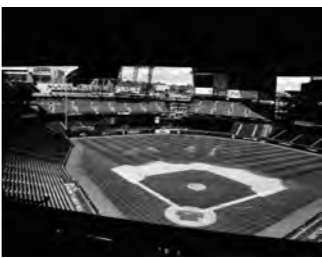
作者不詳《牡丹灯笼》制作年不詳 金性寺蔵

11/14 (水) スポーツが作ったアメリカ ―実験国家の社会形成と文化創造

講師：鈴木 透(慶應義塾大学法学部教授)

スポーツは、社会をどのように変え得るでしょうか？ルールに自国の価値観を刻み込んだ競技を生み出し、スポーツを人為的集団統合の舞台にしてきたアメリカの事例から考えます。ラグビーW杯やオリンピック・パラリンピックの自国開催が近づく中、日本のスポーツ文化の未来を考えるヒントを探ります。

- 日時：11月14日(水)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：1000円



11/15 (木) 上廣・日比谷ライブラリーレクチャー シリーズ「私の修業時代」 修業時代の出会いが決めた私の人生

講師：富山 健(千葉工業大学未来ロボット技術研究センター国際連携主管)

小学生の時に理科に目覚めさせていただいた先生、中学高校を通して「種の保存と個の保存」を教えていただいた国語の先生、大学では「制御」の面白さを教えていただきアメリカ留学のきっかけを作っていただいた先生。良い人たちとの出会いがいかに貴重か、それを生かすことがどんなに人生を豊かにするか、お話ししたいと思います。(主催：公益財団法人上廣倫理財団、共催：日比谷図書館)

- 日時：11月15日(木)19:00～20:30(18:30開場)
 - 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民・学生無料)
- ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



◆古文書塾てらこや本講座◆

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んでいただける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を開講します。



	講座名	曜日・時間	本講座実施日
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(月) 10:30～	10/1
		(月) 13:30～	10/1
		(金) 13:30～	10/12
		(金) 18:30～	10/5
	いろはの次 ―大江戸大変	(月) 18:30～	10/1
	いろはの次 ―江戸時代の海外知識	(金) 10:30～	10/5

本科コース 120分	文人画と碑文 ―掛軸を読む	(日) 13:30～	10/14
---------------	---------------	------------	-------

本科 5回コース 120分	翻字者育成講座 国文学研究資料館蔵『源氏物語 若紫』を読む	(土) 14:30～	11/10
---------------------	----------------------------------	------------	-------

特別講座 90分	自分の花押(かおう)を持ってみませんか	(火) 13:30～	10/9
	大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00～	10/9
	浮世絵を読む【紅色クラス】	(水) 10:30～	10/10
	浮世絵を読む【藍色クラス】	(水) 10:30～	10/17
	開国日本の外国人 ―ジャーナリストの取材ノート	(水) 13:30～	10/10
	商家文書を読みとく―三井の子弟教育	(水) 19:00～	10/10
	江戸を楽しむ ―江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30～	10/11
絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30～	10/13	

- 会場：4階 セミナールーム(会議室)
 - 定員各23名(申込順)
 - 参加費：【入門コース】【本科コース】各33,600円(全10回/各回120分/6ヶ月。別途資料代1,000円)【特別講座】各13,650円(全5回講座・3か月分、別途資料代500円)※翻字者育成講座には別途テキスト 国文学研究資料館蔵『源氏物語 若紫』(税込1,512円 2016年 新典社)が必要です。(当館でのご用意も承ります。)
- ※古文書塾てらこやに関する資料をご希望の方には無料で送付いたします。

■お問合わせ：電話 03-3502-3340

●特別研究室企画展示●

内田嘉吉が所有した『群書類従』 ―日本における書誌学のはじまり―

内田嘉吉文庫所蔵の大文献書物、江戸期の国学者・塙保己一が編纂した『群書類従』666冊の中から興味深い冊子、収録文献の解説パネルを展示するほか、内田嘉吉が注文した、1915年から摺りたてが行われた『群書類従』に「光栄記念」の朱印が押印されている理由・いきさつも紹介します。また、特別研究室外側壁面では公益社団法人温故学会所有の「塙保己一と群書類従」関連パネルを展示します。

●10月16日(火)～12月28日(金)



『群書類従』巻356「新修鷹経」より

ポモータ広報室より

日比谷図書館文化館の蔵書は約20万冊(2018年4月現在)ほとんどの方にとっては、一生かかっても全てを読むのは難しい冊数です。その中から読みたい本を探すときには、「検索する」「図書カウンターで相談する」「好きなジャンルのコーナーに行ってみる」「展示を見る」(日比谷図書館文化館は本の展示が豊富です)など色々な方法がありますが、お勧めなのが2階の図書カウンター前にある「返却された本」のコーナーです。今、まさに誰かから返却された本の中には自分が読みたい本が返却されていることもあり、本を通してコミュニケーションが取れたような、検索や本棚から探すのとは少し違う気持ちが味わえます。夏の暑さも和らぎ、読書するには最適な季節!是非、日比谷図書館文化館で読みたい本を沢山みつけてください。